

「日日是好日」

賀茂小学校長 小田加奈子

ある日のことです。

「先生、僕のナス大きいのがなってる。」

「僕のピーマン、花が咲いた。」

「僕のトマト、すごいよ。」

「僕のスイカは、もう大きくならんと思う。」

二年生が、生活科で賀茂っ子農園に植えた夏野菜の観察に出かける途中、階段ですれ違った私に一人一人自分の植えた野菜の近況報告をしてくれました。

その後も毎朝、二年生の子どもたちは、ランドセルを教室に置くと、夏野菜の水やりと観察に出かけます。登校してきた子どもたちを校門近くの通学路で出迎えた後、私も賀茂っ子農園へと向かいます。夏野菜の根元には、ネギが一緒に植わっています。

「野菜と一緒にネギも植えるといいって安藤さんが教えてくれたの？虫がつかないってこと？」

「虫が来ないんじゃないかとよく育つんだよ。だけどオクラと一緒に植えても効果がないんだって。」

「そうなんだね。だからこのオクラは、ネギと一緒に植えてないんだね。」

親ガモさんや子どもたちからいろいろことを教えてもらい、来年は私も子どもたちと一緒に夏野菜を賀茂っ子農園で育ててみようと考えています。

六月十三日（金）四時間目。五年生の国語の学習として『賀茂の魅力を

伝えよう』の発表会がありました。一人一人が、タブレットを使い、写真やクイズを交え、それぞれが考えた賀茂の魅力を発表しました。

多くの子どもたちが取り上げていたのは、やはり賀茂神社のお祭りと「花しようぶまつり」が行われたしょうぶ園でした。歴史ある賀茂神社と多くの人の手で作り、守られているしょうぶ園。賀茂っ子にとってはあたりまえの行事・あたりまえの風景なのか、もしくは残すこと、守り続けることは並大抵ではないと思います。地域のかたの思いや苦労話もぜひ子どもたちに聞かせていただけたらと思います。そして、やがて子どもたちがその担い手となって守り伝えていくことを期待しています。

五月一日の縦割り班での遠足。親ガモのかたのと職員で八日に行つた田おこしと畝作り。四・五年生で出かけた十五・十六日の野外教育センターでの野外教育活動。昨年よりもたくさんの保護者の皆さんや親ガモのかたに協力していただいた五月二十八日の「どろんこ体験・田植え」。五月の行事は、比較的天候にも恵まれ、予定通り行うことができました。

しかし、六月に入ると雨も多く、サツマイモのつるさしは、延期に次ぐ延期。三度目の正直で、六月十三日にやつと行うことができました。十六日には、賀茂保育園の園児たちも賀茂っ子農園にやってきて、サツマイモのつるさしを行いました。交流活動として、一年生も一緒に活動しました。今年も収穫が楽しみです。